

調査の概要

(1) 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

(2) 調査の対象学年

小学校第6学年（門真市:14校） 739名
中学校第3学年（門真市:6校） 708名

(3) 調査内容

①教科に関する調査（国語、算数、数学、理科）

- ・身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっておくことが望ましい知識・技能等
- ・知識技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立てて実践し評価改善する力等

調査問題では上記の2点を一体的に問うこととする。

②生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

- ・学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査

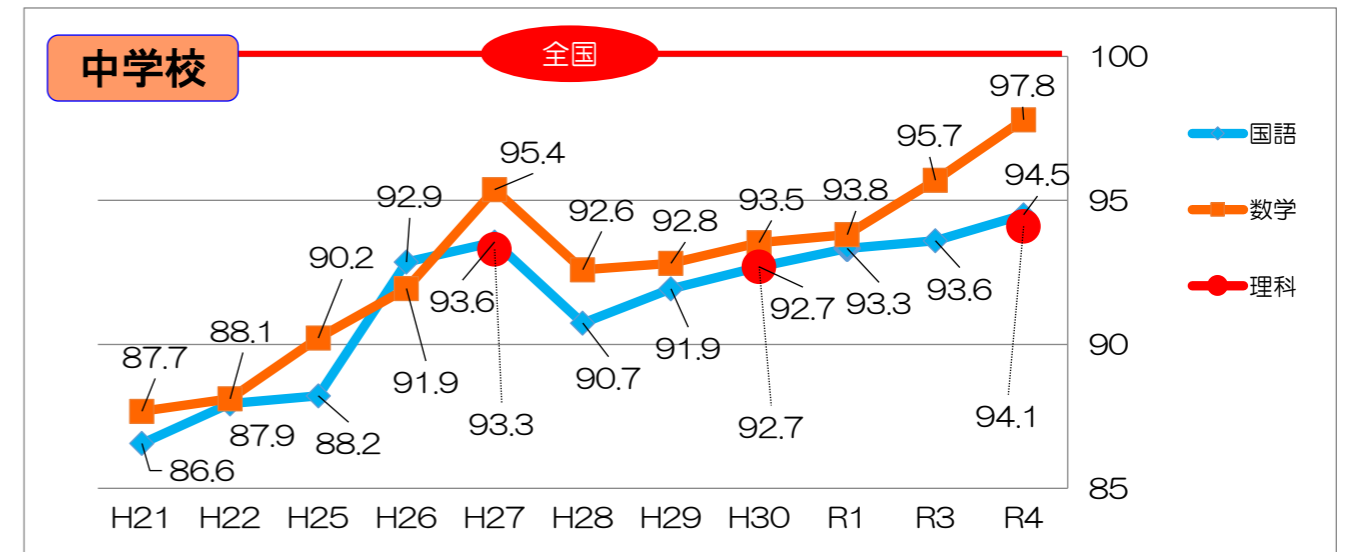
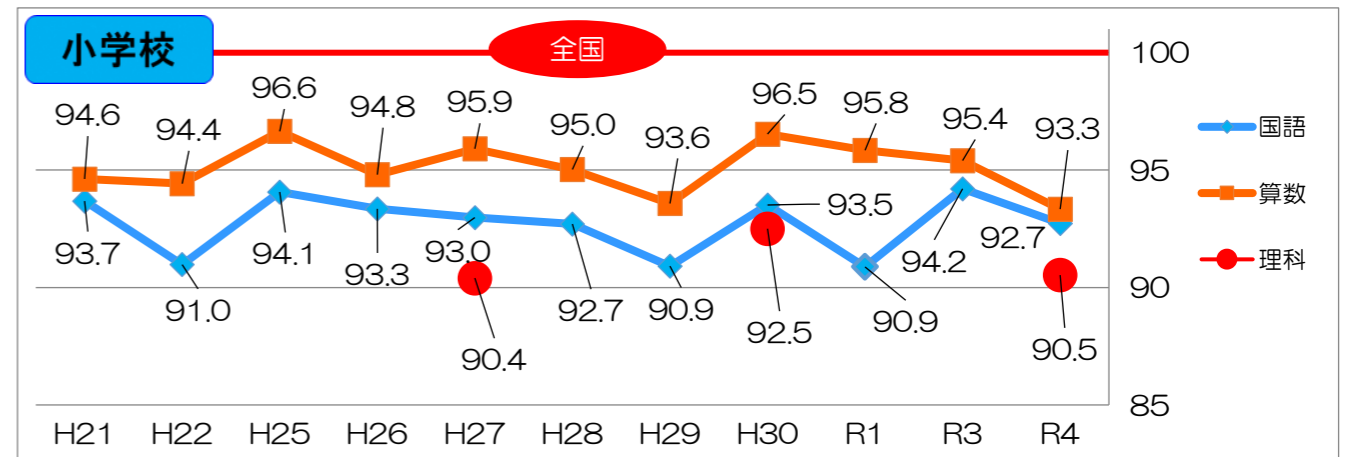
※今回お知らせする調査結果につきましては、学力や学習の一部であり、子どもたちの学力や学習状況、学校の教育活動などの全てを表すものではありません。

校種・教科・区分別平均正答率

小学校	令和4年度		
	門真市	大阪府	全国
国語	57.0	64.0	65.6
算数	56.0	63.0	63.2
理科	53.0	60.0	63.3

中学校	令和4年度		
	門真市	大阪府	全国
国語	64.0	67.0	69.0
数学	49.0	51.0	51.4
理科	44.0	47.0	49.3

標準化得点を活用した対全国比経年比較



※標準化得点とは、全国平均との関係について年度間の相対的な比較ができるよう、計算されたものです。
※平成21年から平成30年までの算数・国語の調査結果、A・B区分の平均値で表しています。



結果の概要と今後へ向けて

【結果の概要】

昨年度の結果と比べ、小学校の結果は、国語は1.5ポイント、算数は2.1ポイント、4年ぶりに実施された理科も2ポイント、それぞれ下降する結果でした。中学校の結果は、国語は0.9ポイント、数学は2.1ポイント、理科は1.4ポイント上昇する結果でした。

〇本市では、門真市版授業づくりベーシック（学習指導要領に基づいた授業改善）を推進しています。その成果を「全国の平均正答率7割以上の問題」において図っており、本市においても同じく正答率7割以上を目指すということの一つの目標として取り組んでおります。その観点において今回の結果は以下の通りでした。

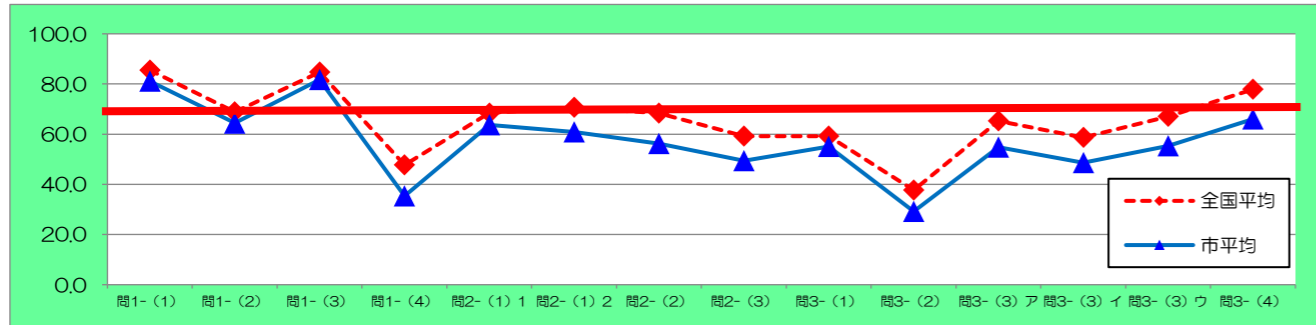
小学校6年 国語【全14問中】全国（4問）門真市（2問） 算数【全16問中】全国（6問）門真市（2問） 理科【全17問中】全国（6問）門真市（2問）
中学校3年 国語【全14問中】全国（8問）門真市（7問） 数学【全14問中】全国（4問）門真市（2問） 理科【全21問中】全国（3問）門真市（2問）

【今後に向けて】

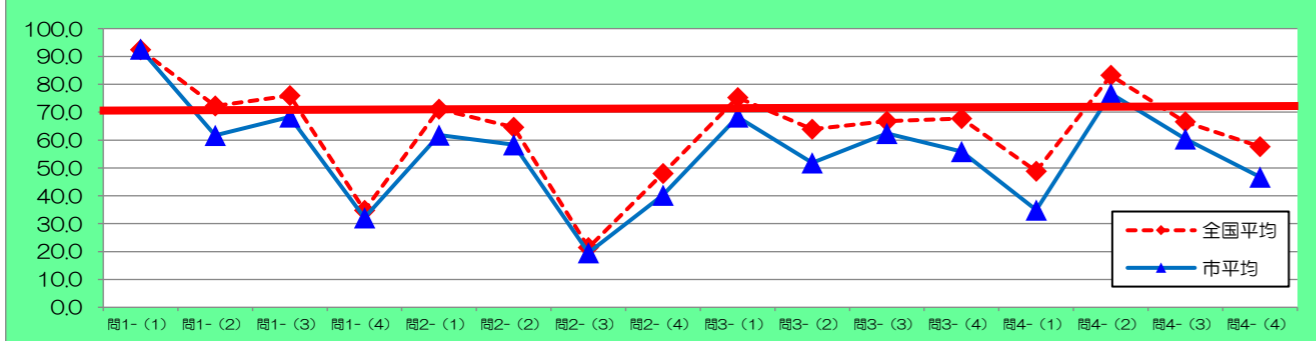
〇今後も門真市学力向上アクションプランに基づき、授業改善を進めます。また、学力向上に係る加配教員を小中学校12校に配置するとともに、門真市教育委員会指導主事等が定期的に学校訪問を行うなど、今年度は今まで以上に学校と教育委員会が一体となり、子どもたちの学力向上の取組を推進しております。引き続き、子どもたちの確かな学力の育成に向け、学校における学力向上の取組の推進を支援して参ります。保護者の皆様のご協力と支援を引き続きよろしくお願い致します。

設問別正答率（全国平均正答率と本市平均正答率）

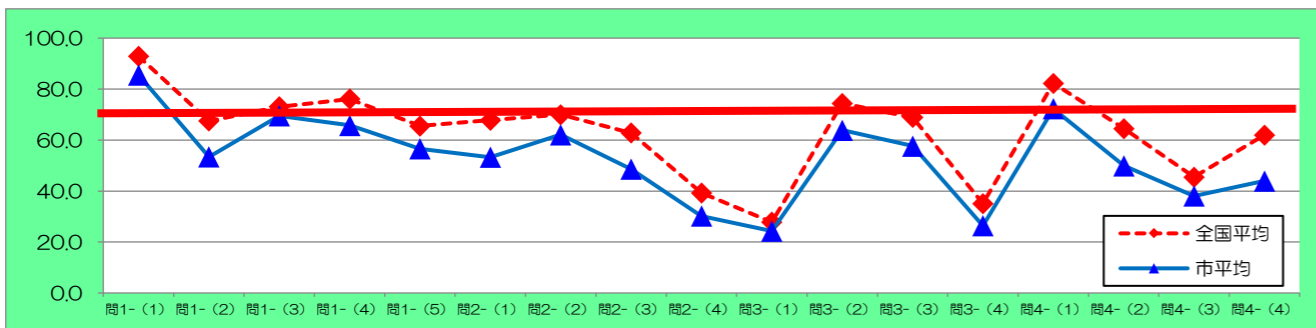
国語・小6



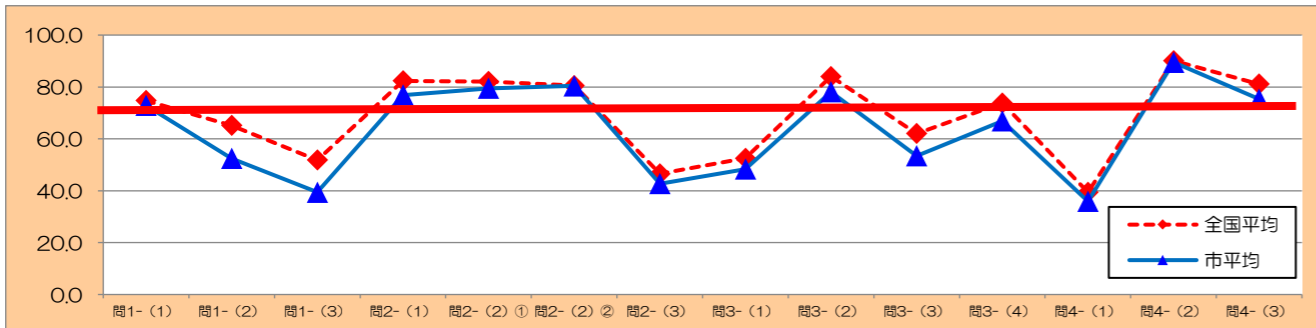
算数・小6



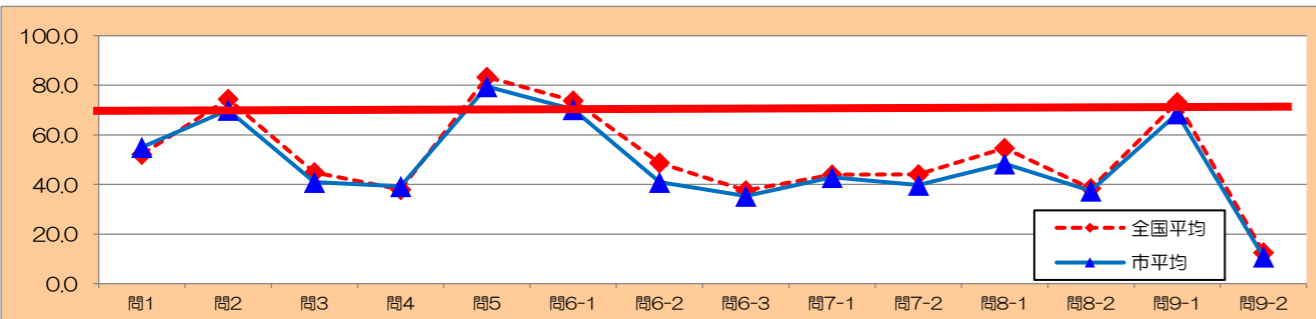
理科・小6



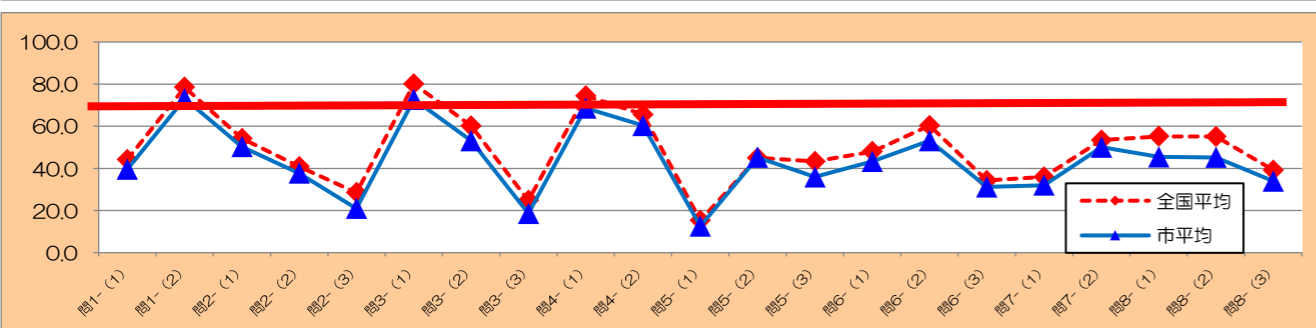
国語・中3



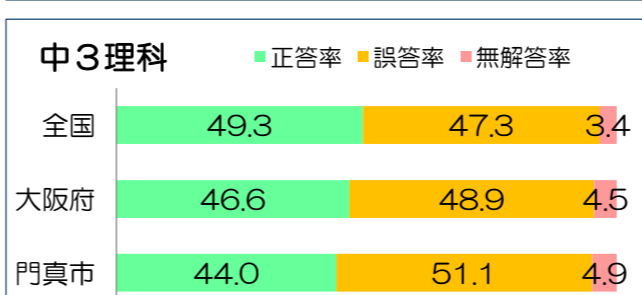
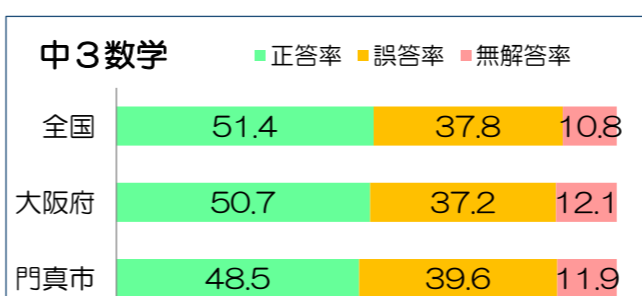
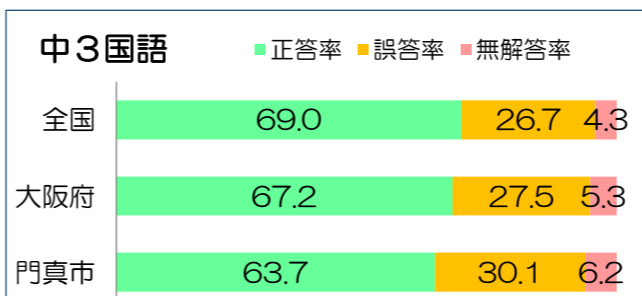
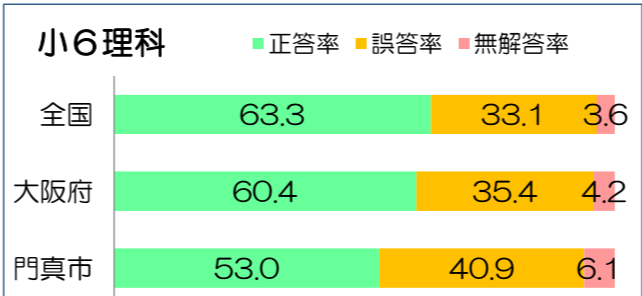
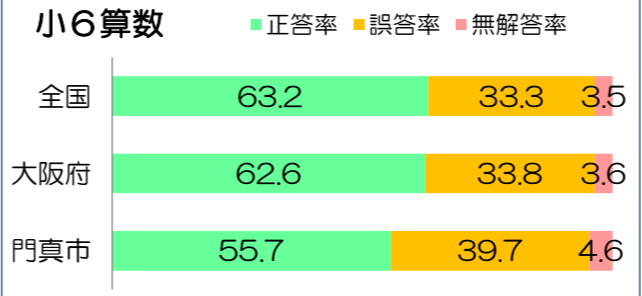
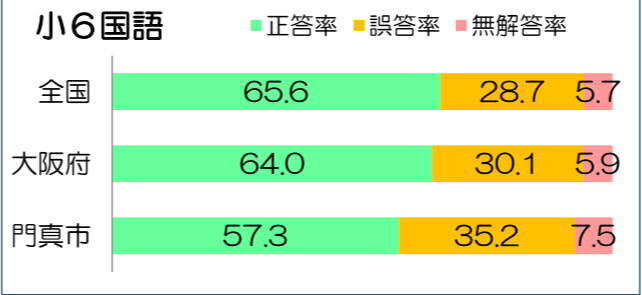
数学・中3



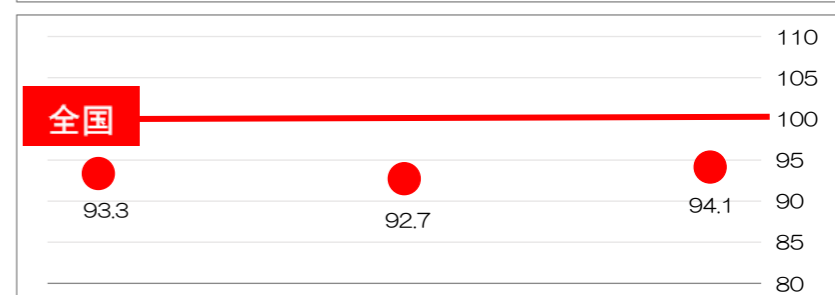
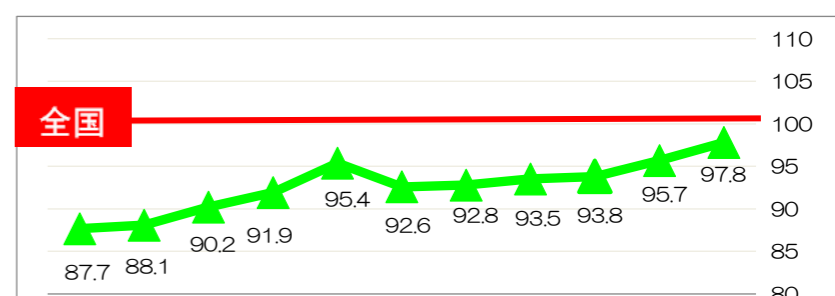
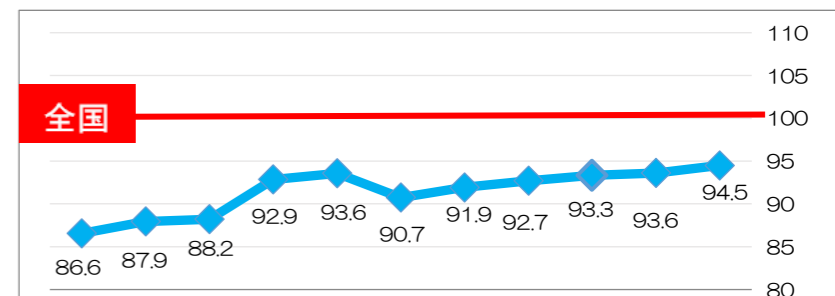
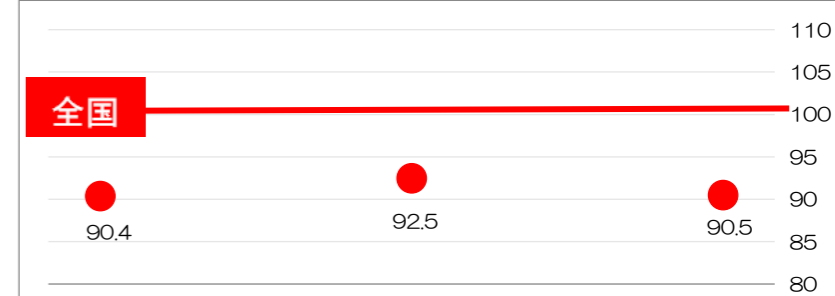
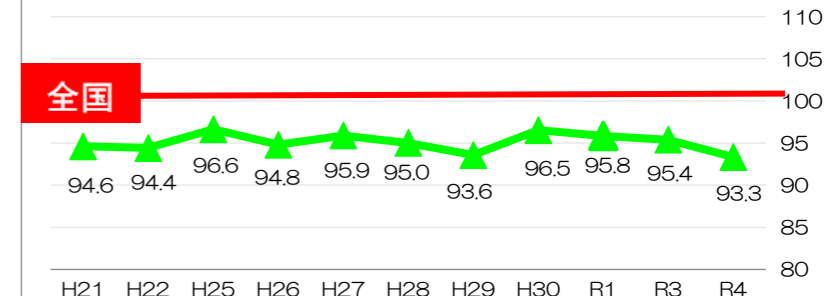
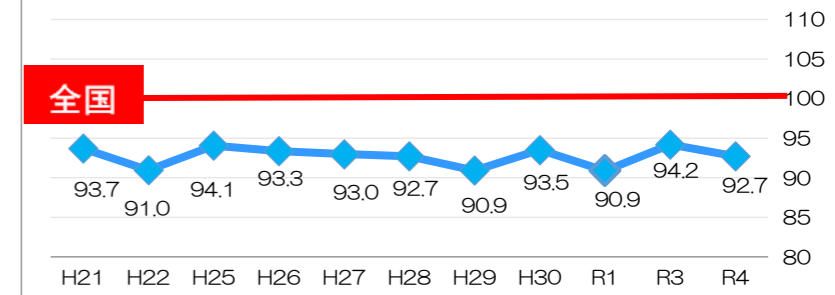
理科・中3



正答率比較



標準化得点を活用した対全国比経年比較（教科別）



小学校（第6学年）

中学校（第3学年）

小学校（第6学年）

中学校（第3学年）

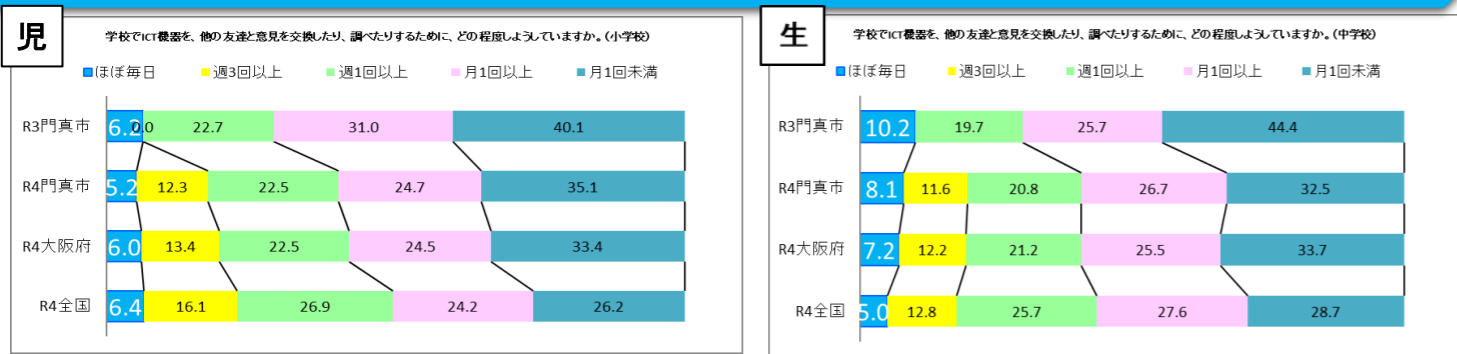
国語の学習内容の理解は児童生徒ともに増加



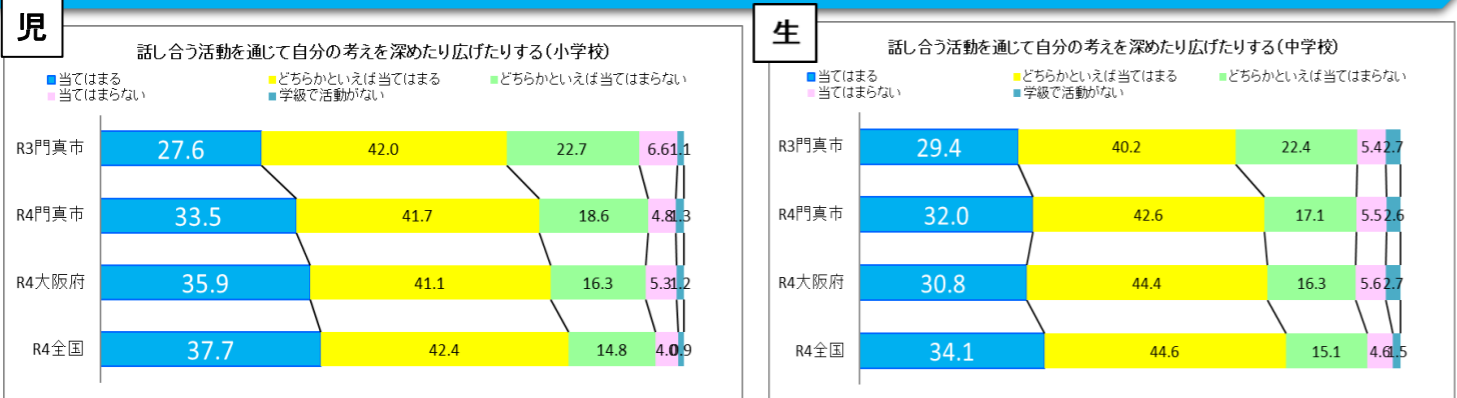
算数・数学の学習内容の理解は児童は減少、生徒は増加



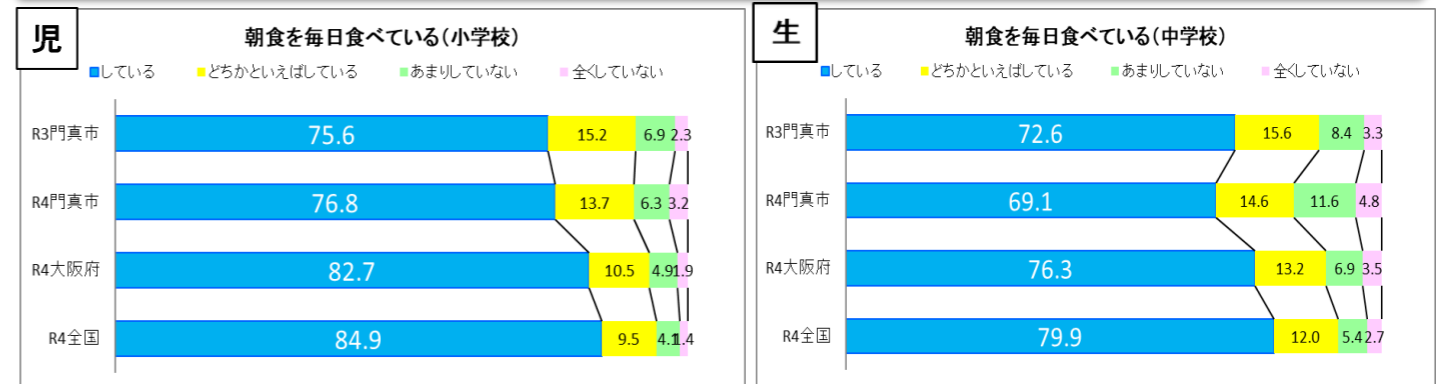
授業でICT機器を使い、友達と意見の交換などを活動を行う場面、週1回以上において、児童生徒ともに増加



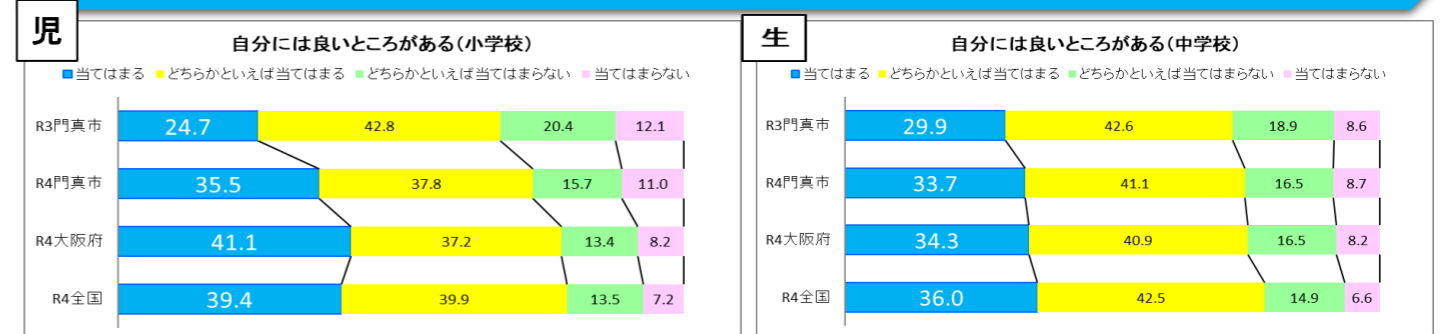
話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたり出来ている児童生徒はともに増加



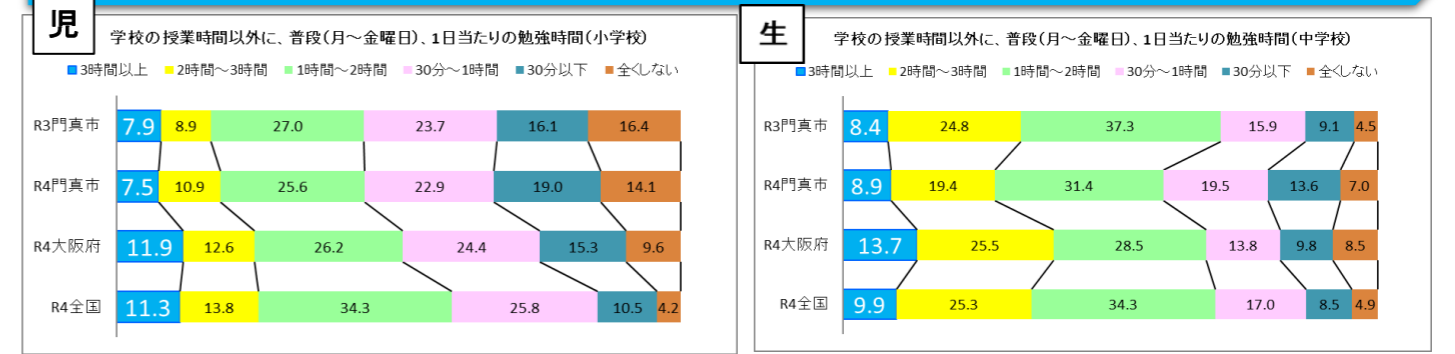
朝食を毎日食べている児童生徒はともに減少(※)



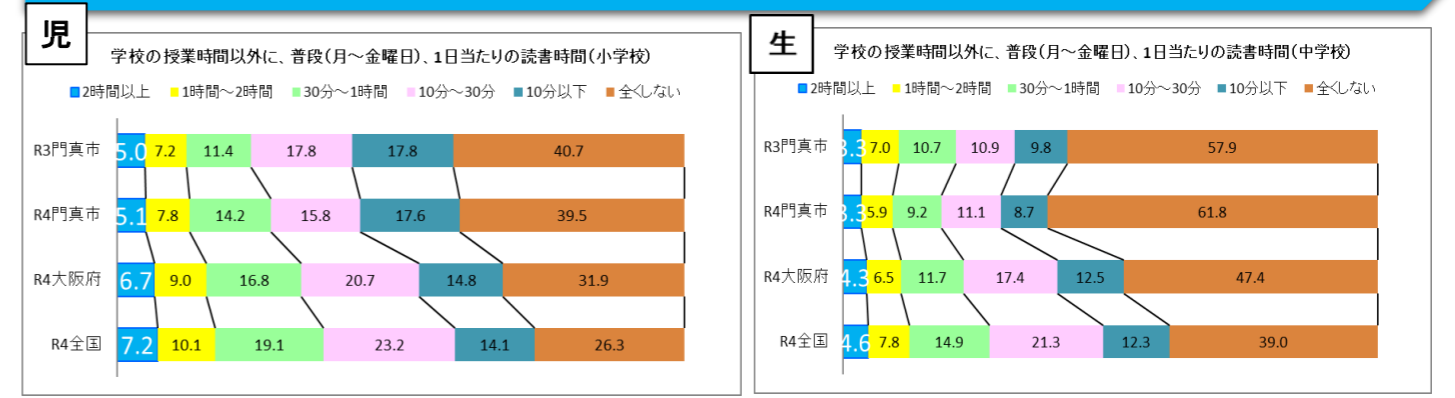
自分には、よいところがあると感じる児童生徒はともに増加



学校の授業時間以外に1日あたりの勉強時間1時間以上において児童は増加、生徒は減少



学校の授業時間以外に読書を1時間以上する児童は増加、生徒は減少



(※) 門真市教育委員会と学校が連携し、全国学力・学習状況調査の結果の分析を基に、子どもの力をより良く育成できる授業改善及び学校教育環境の改善をさらに行ってまいります。また、「早寝・早起き・朝ごはん」など、安定した生活習慣と子どもの学力には相関関係があると、言われています。全国学力・学習状況調査の結果が返却される機会に、お家でもお子さまと生活習慣について、本資料を活用し、お話しする機会をつくっていただければ幸いです。

